

安芸税務署長賞

「税について」

馬路村立馬路中学校 三年

西山 大夢

「税金」というお金がなければ、僕たちは生活ができません。税金があるからこそ、今の僕たちの生活が安全なのです。

僕が税金のことを考え始めたのは、小学校一年生の時です。お菓子を買いに近くの店へ行った時でした。百円のお菓子を買おうとしたら店の人が「百五円。」といったので百五円を出しました。そのときにどうして百円と値札に書いてあるのに、百五円払わなくてはいけないのかと疑問に思いました。その頃はまだ、税金なんてわからないから自分が損をしているんじゃないかとさえ思いました。「百円の品物を百五円で買わなければならない。」ということが、幼い自分を疑問にさせたのだと思います。

しかし今は、そのような疑問になることはありません。税金の大切さを学習したからです。税金は僕たち小・中学生には不可欠なお金です。僕たちがお金を出さなくても教科書が貰えるのは、税金があるからです。僕たちが普段何げなく使っている教科書は、国の税金で作っているのです。「自分がお金を出していないから、どんなに教科書を使ってもよい。」という人たちもいますが、国に税金を払っているのは僕たちなのですから、もっと大切に教科書を使わなければいけないと思います。

税金は教育費の他に、土木費、警察費、災害復旧費等さまざまな所で、僕たちを支えているのです。もし税金を払わなければ、道路が壊れていても修復するお金がなくてその壊れた道路の状態のままだったり、火事の時に火を消すのにその火事になった家の人がお金を払わなくてはいけなかったりと、今現在では考えられないことだと思います。それぐらいに税金は、国に大切なお金なのです。税金があつてこそ、今の世の中があると思います。

僕は今、消費税として税金を国に納めています。消費税以外の税金は、僕たちはまだ納めていません。しかし、数年たてばいろいろな税金を国に納める本格的な納税者になります。たくさんの税金を納めなければなりません、しっかりと納税したいと思います。しかし、今の世の中では納税を行っていない人たちがいます。その人たちは、なぜ納税をしないのでしょうか。僕はそのことが今、疑問に思っています。納税は日本の三大義務の一つでもあります。そして税金は、国のために使われています。そのことをきちんと理解して、納税を行ってほしいと思います。

今の社会では、税金のおかげで成り立っている所があると思います。そして僕たちの生活でも、税金は必要です。国民の一人一人が税金の大切さを知って、

今の生活があるということを忘れずに、税金を納めてほしいし、僕も納税を行っていきたいです。